

基礎・土台・柱の3点を止めるので引抜強度が高い金物です。



- 通柱・管柱・どちらでもご利用できます。
- オールステンレスでサビず、鉄の1.5倍の強度を保持。
- スマートなフォルムで建物の美観を損ないません。
- 取付穴には防蟻・防水処理を施します。
- 布基礎のコーナー左右どちらでも使えます。
- 連結ゴムは耐熱・耐候性に優れたEPDMを採用。

1本明細(お買い求めは1セット(2本入)単位となります。)



取寄せ商品 | サン・ライズ工業 | 外付ホールダウン金物(2本入)

649-0100 NS-21

1セット(2本入) 212,400円(税抜き)

●サイズ: 上部金具/W75×H565×D75mm、下部金具/W100×H140×D115mm、基礎パネル/W180×H140×D5mm

運賃 無料(沖縄・離島を除く)
代引不可 お支払い方法が「代引き」のお客様は事前振込みをお願いします。
納期 標準納期 3~5日(メーカー直送)
※取寄せ商品についてはP.869をご一読の上、ご注文をお願いします。

構造の耐震
耐震補強金物
最新情報は
こちらから



耐震・防災
家具の耐震
構造の耐震
防災用品



測定: 日本品質保証機構試験センター
この実験は、製品に直接引張強度をかけるという、実際の住宅が地震等で受ける応力より厳しい条件で、検体が破断するまでの引張耐力を測定。その結果、6.8tの引張耐力が計測されました。これは、阪神淡路大震災クラスの地震による引抜応力にも、充分耐える性能が実証された事になります。

施工方法 外付ホールダウン金物の施工方法



下穴の加工・基礎パネルの取付

補強金具の取付け位置を決め、マーキングをし、基礎パネルを取付けます。



上部金具の取付

上部金具用の下穴を開け、防蟻・防水処理を施した後、上部金具を取付けます。



下部金具の取付

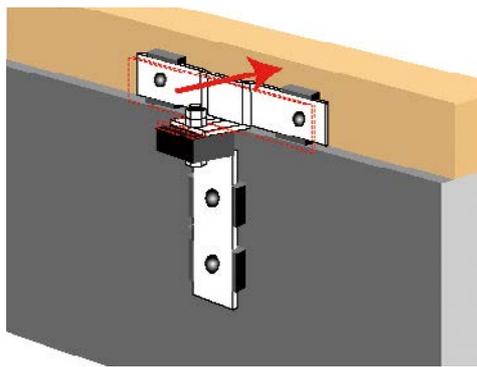
基礎パネルに下部金具を取付けます。



上部金具と下部金具の連結

上部金具と下部金具を連結し、外カバーを取付けて施工完了です。

基礎と土台の緊結に。



芯々施工の場合はホルダーをスライド(約20mm)させて使用します。

売れ筋 人気があります

- 引張強度: 79.85kN(約8.1t)
- 施工のピッチは通常のアンカーボルトと同じです。

サン・ライズ工業 | 後施工用アンカーボルト BZ

649-0110

1個 16,200円(税抜き)

●材質: 本体/FB磨き鋼板(亜鉛メッキ加工)
●サイズ: W300×H260×D65mm
●付属品: 六角コーチボルト2本(M9×75mm)、ルーティアンカー2本、丸ワッシャー2枚、スプリングワッシャー2枚

パリアフリー
金物
接着・テープ・清掃・補修
水まわり
防犯
耐震・防災
収納・内装
ペット用品
建築資材
道具・工具
お役立ちコーナー
豆知識
ご利用方法

まめ知識

お役立ち情報

震度とマグニチュードの違い

震度は地震によるある場所での揺れの強さをあらわし、マグニチュードは地震そのものの大きさをあらわします。これは電球そのものの明るさと周りの明るさとの関係によく似ています。電球そのものの明るさをあらわすものがマグニチュードで、電球から離れたある場所の明るさが震度に相当します。つまりマグニチュードが大きくても(電球が明るくても)電源から遠いところでは震度は小さく(暗く)なります。

マグニチュード(M)とエネルギーの関係は?

M6.0 M7.0 M8.0

約32倍

約1000倍

(体積が地震エネルギーをあらわしている。)

マグニチュード(M)と地震波の形で放出されるエネルギーの間には、標準的にはMの値が1だけ大きくなるとエネルギーは約32倍になり、2だけ大きくなるとエネルギーは1000倍になるという関係があります。M8の地震の1つでM7の地震約32個、M6の地震1000個分のエネルギーに相当します。